



19. 教育学部・学校教育学研究科の特色・強み

—平成31年 学部(研究科)長から—

TOPページ

教育学部・学校教育学研究科

- 教育学部 《H28.4再編》
- 学校教育課程
- 幼小連携教育コース
- 小中連携教育コース

- 学校教育学研究科 (教職大学院) 《H28.4再編・設置》
- ◇教育実践探究専攻
- 授業実践探究コース
- 子ども支援探究コース
- 教育経営探究コース

- 附属施設
- 教育実践総合センター 《H 5.4改組》
- 小学校 《S24.5設置》
- 中学校 《S24.5設置》
- 特別支援学校 《S53.4設置》
- 幼稚園 《S45.4設置》

- 教育学部に幼小・小中連携教育コース
- 特色・強み⇒
- 学部HP <http://it3.pd.saga-u.ac.jp/>

芸術地域デザイン学部

- 芸術地域 《H28.4再編》
- 芸術地域 《H28.4再編》
- 芸術表現コース
- 地域デザイン

- 地域デザイン
- 修士
- ◇地域デザイン
- 地域マネジメントコース

- 特色・強み⇒
- 学部HP <http://www.art.saga-u.ac.jp/>

経済学部

- 特色・強み⇒
- 学部HP <http://www.eco.saga-u.ac.jp/>

- 特色・強み⇒
- 学部HP <http://www.eco.saga-u.ac.jp/>

- 特色・強み⇒
- 学部HP <http://www.eco.saga-u.ac.jp/>

医学部・医学系研究科

- 特色・強み⇒
- 学部HP <http://www.med.saga-u.ac.jp/>

- 特色・強み⇒
- 学部HP <http://www.med.saga-u.ac.jp/>

- 特色・強み⇒
- 学部HP <http://www.med.saga-u.ac.jp/>

理工学部工学系研究科

- 工学部 《H9.4改組》
- 物理科、知能工学、機械
- 機械システム工
- 工学の7学科

- 研究科 《H24.10改組設置》
- 博士前期(専攻)
- 工学
- 工学
- 情報システム
- 循環物質化学
- システム
- 電子工学
- 工学
- 融合工学
- 理工学コース
- 工学コース
- 期(専攻)
- ム創成
- 電子情報システ
- 科学コ
- システム学
- 工学コ

- 特色・強み⇒
- 学部HP <http://www.se.saga-u.ac.jp/ug/>

2019' Key-Word

教育の変革に対応する教員養成を目指して

附属学校園での幼小連携小中連携教育研究

高大連携プログラム

地域密接型の教員養成を目指して

学生の現場力養成と地域貢献

九州北部の学生の教育を担う教員養成学部

リーダー教員の養成を目指す教職大学院

教育学部に幼小・小中連携教育コース Category:学部, 教育

高大連携プログラム「教師へのとびら」の実施 Category:学部, 教育

文部科学省大学間連携共同教育推進事業に選定された取組(「大学間発達障害支援ネットワークの構築と幼保専門職業人の養成」)の推進 Category:学部, 教育

佐賀県教育委員会との連携・協力事業(教員研修専門部会と教育課題研究専門部会) Category:学部・研究科, 社会貢献

附属学校園を活用した教員養成のあり方についての研究 Category:学部, 研究

学生の現場力養成を目指した地域貢献事業(中高年のための健康教室・ウルトラマラソン) Category:学部, 社会貢献

学校教育学研究科(教職大学院) Category:学部, 教育

教育学部における幼小・小中連携教育 Category:学部, 社会貢献

平成28年度より幼小連携教育コース・小中連携教育コースを設置し、全国に先駆けて、幼小・小中連携教育を中心とした教育課程を立ち上げた。連携に必要な教員免許取得を目指すことができることが大きな特徴。



佐賀県教育委員会との連携・協力事業 Category:学部・研究科, 社会貢献

H17.1佐賀県教育委員会との連携・協力協定を締結、地域の大学としてよりよい教員養成の在り方を目指し、佐賀県内の諸学校や教育関係者が抱える課題解決のために、大学のもつ資源と研究力を生かした地域貢献を実現。

また、佐賀県教育委員会と連携して、ニーズに沿った教員免許状更新講習を実施、佐賀県のみならず、福岡県南部を始めとして受講生を受け入れ、全国的にも高い定員充足率を誇る。



高大連携プログラム「教師へのとびら」の実施 Category:学部, 教育

教育学部では、高大連携活動の新しいかたちを目指して、将来、教師を目指す県内の高校生を対象とした新しいカリキュラムを実施中。

高校3年間と大学4年間をあわせた7年間で「未来の教師」を育成しようというもの。従来の高大連携活動と異なり、継続的に参加し、ポートフォリオなどの成果物を作成することが大きな特徴。



学生の現場力養成を目指した地域貢献事業(中高年のための健康教室・ウルトラマラクラブ) Category:学部, 社会貢献

中高年のための健康教室は、H16に発足した地域の中高齢者を対象とする健康増進のための地域貢献事業60名近い学生が実習やボランティアとして参加。

ウルトラマラクラブは、発達障害のある子ども達のための運動教室。

いずれも、現場力(実践的能力育成)のための教育機会として極めて有用なものとなっている。



文部科学省大学間連携共同教育推進事業に採択された取組(「大学間発達障害支援ネットワークの構築と幼保専門職業人の養成」)の推進

Category:学部, 教育

保育者を目指す学生の専門性を向上させることにより、発達障害のある幼児がニーズにあった支援を幼稚園や保育所で受けることが出来るようになるため、大学間共通教育プログラムを開発、開講。

連携校の療育指導資源を生かして、大学間発達障害支援ネットワークを構築していることが大きな特徴。

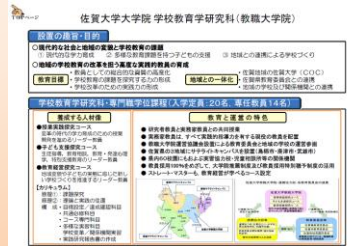


大学院 学校教育学研究科(教職大学院) Category:大学院, 教育

現代社会と地域変容に対する学校教育の課題に対応した学力育成、子どもの支援、学校づくりを探究する大学院を新設。

地域の学校教育の改革を担う高度な実践的教員の育成を行い、教員としての総合的な資質を身につけ、学校教育の課題を探究する力の形成、学校改革のための実践力の形成を目指す。

平成30年11月には、研修等の連携強化を目指し独立行政法人教職員支援機構との協定を締結した。



附属学校園を活用した教員養成のあり方についての研究

Category:学部, 研究

現場対応力のある教員を養成するため、附属学校を用いて臨床教育実習や小中接続カリキュラムによる授業を行い実習の高度化を推進。先進的・実験的取り組みにより、地域教育のモデル校としての役割を果たしている。



教育学部

教育の変革に対応する幼小連携教育コースと 小中連携教育コースよりなるカリキュラム

幼小連携教育コース(25名)		小中連携教育コース(95名)	
幼小発達 教育専攻	特別支援 教育専攻	初等教育 主免専攻	中等教育 主免専攻
<p>取得できる教員免許状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭一種免許状又は二種免許状・小学校教諭一種免許状又は二種免許状 ・中学校教諭一種免許状又は二種免許状・特別支援学校教諭一種または二種免許状 ・高等学校教諭免許状 			

小学校英語教科化への対応



ICT利活用への対応



教員採用試験支援プロジェクト



地域密接型の教員養成学部

県の教育現場の実態
を踏まえた養成課程
の構築

地域の政策的課題へ
の取組に貢献

佐賀県・佐賀市との連携協力の推進
佐賀県教育委員会との連携協力協議会
12のプロジェクトを推進中



九州北部の学生の教育を担う教員養成学部

教育現場での実践力のある教員を輩出



佐賀県

福岡県

大分県

長崎県

熊本県



鹿児島県

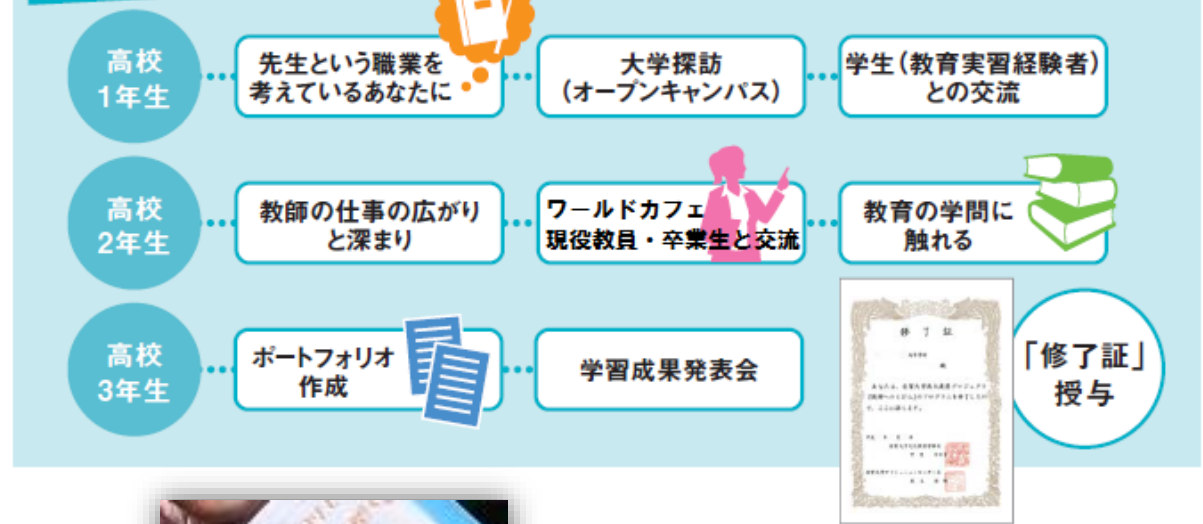
宮崎県

高大連携プログラム「教師へのとびら」

- ◎高大連携活動の新しいかたちを目指した教師を目指す県内の高校生を対象とした新しいカリキュラム（アクティブラーニング）
- ◎高校3年間と大学4年間をあわせた7年間で「未来の教師」を育成
- ◎佐賀大学教育学部と佐賀大学アドミッションセンターによる共催、佐賀県教育委員会の協力も得て実施
- ◎従来の高大連携活動と異なり、継続的に参加し、ポートフォリオを作成することが大きな特徴
- ◎登録者数（括弧内は前年度からの継続参加者で内数）

平成26年度（初年度）—92名
 平成27年度—161名（ 37名）
 平成28年度—162名（104名）
 平成29年度—205名（ 93名）
 平成30年度—213名（124名）

プログラム全体のイメージ



- ポートフォリオ：学習成果を蓄積し、進路選択・入試に接続
- カリキュラム修了者（2年生までに5回以上参加）には「修了証」を授与



他校の生徒とともに活動



グループでのフィードバック



大学生と高校生、互恵的な学びの連携

プログラム受講者
 H30年度佐賀大学入試
 教免取得可能学部への出願

志願者：30名
 合格者：14名

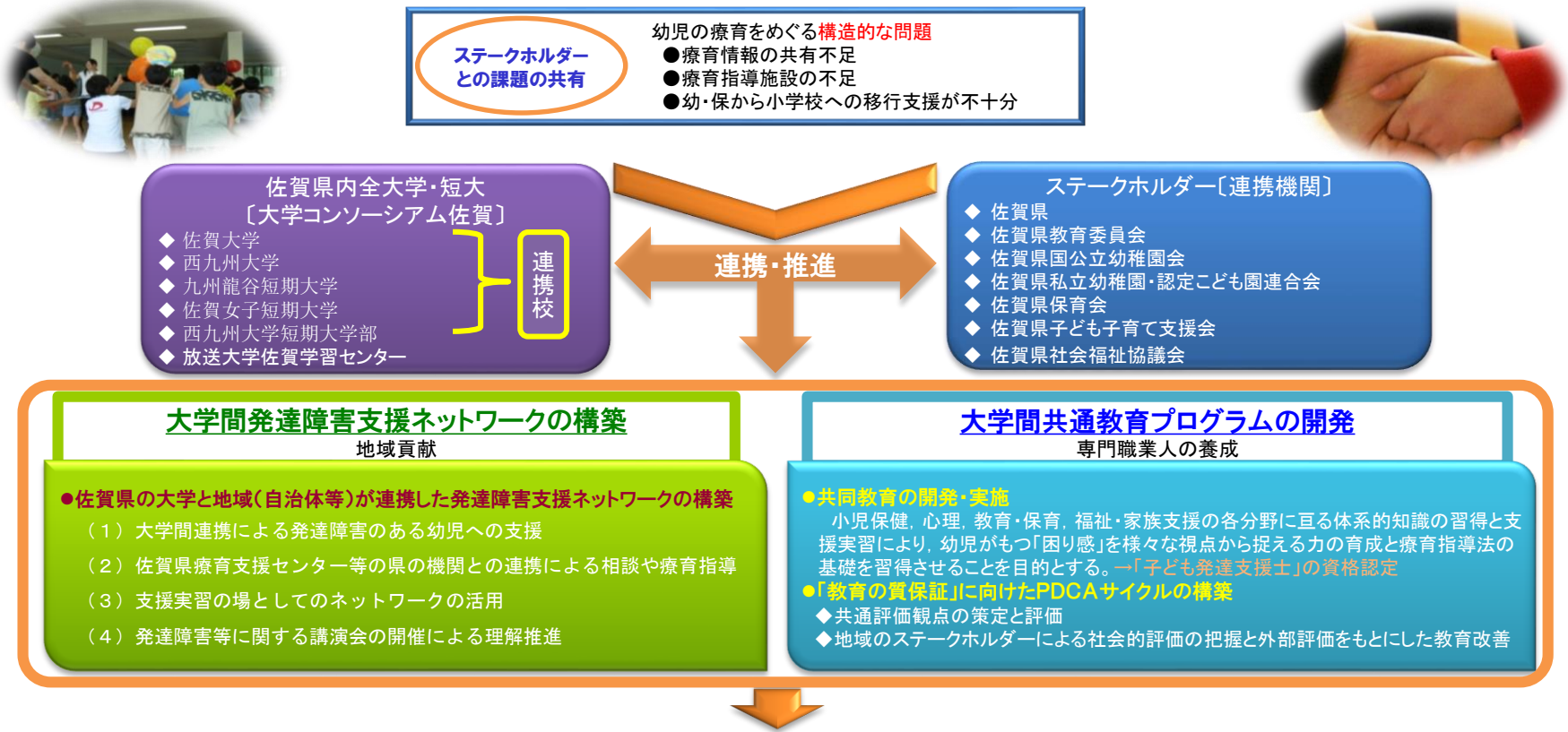
（教育学部：13名）
 （理工学部：1名）

取組名称：大学間発達障害支援ネットワークの構築と幼保専門職業人の養成

取組大学：佐賀大学（代表校），西九州大学，九州龍谷短期大学，佐賀女子短期大学，西九州大学短期大学部

◎幼児教育の専門職業人をを目指す学生の専門性を向上させることにより、発達障害のある幼児がニーズにあった支援を幼稚園や保育所で受けることが出来るようになるため、以下の事業を進める。

- ①発達障害等をテーマとする大学間共通教育プログラムを共同開発する。
- ②連携校が有する療育指導資源を生かして、大学間発達障害支援ネットワークを構築し、地域の療育ニーズに対応する。



《取組の成果》 発達障害の療育ニーズを有する幼児が、継続的に支援を受けることができる。

概要

- ◎教育学部附属学校園は、学部と密接に連携しながら、小中9年一貫のカリキュラム開発や幼小中12年間を見通した子どもたちの成長・発達を支えるシステムの構築を実施。
- ◎学部と4附属学校園は距離的に近く、大学教員も細かな実習指導を行っており、多様で、充実した教育実習が実現。
- ◎これらにより、充実した教育を行いつつ、附属学校園に求められる使命（先進的・実験的取組、地域教育のモデル校）の実現を目指している。

学部・附属校の協同的な教育活動のためのシステムの整備

- ◆附属学校園運営委員会
- ◆附属学校園支援教育委員会
- ◆附属4校の近さを活かした日々の密な連絡・連携

附属校と学部による継続的共同研究の推進

- ◆教科等部会の共同開催
- ◆学部実践センター紀要等への共著論文の発表

多様で、充実した教育実習の実現

- ◆3年次教育実習/◆併免教育実習/◆臨床教育実習

在園児・在校児童生徒への充実した教育の実現

- ◆「9年一貫カリキュラム」⇒小中合同研究発表会
- ◆「12年間の育ちを支える支援体制構築」（H24特別経費プロジェクト分支援事業）
- ◆附属中学校生徒対象の特別授業「大学の先生の授業を受けてみよう」の実施、及び3年生「卒業研究」への大学教員の協力・助言

附属学校の使命の実現

★「先進的・実験的な取組」

★「地域教育のモデル校」

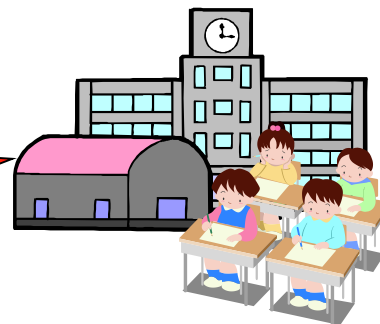
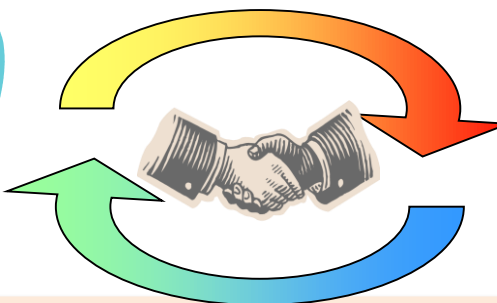
概要

教育学部と佐賀県教育委員会は、平成17年に連携・協力協定を締結し、3部門において実質的な事業を展開。その中の「教員研修専門部会」と「教育課題研究専門部会」において、佐賀大学の人材・知見を活かした現職教員の資質向上と教育現場の課題解決を目指して、様々な事業を展開。教育学部における代表的な地域貢献プログラムの一つ。

- <佐賀大学>
- 現場の実態を踏まえた魅力ある養成課程の構築
 - 地域の大学としての政策的課題への貢献



協定締結 (17年1月)



- <佐賀県教育委員会>
- 教育課題の解決への専門的資源の活用
 - 子どもたちを理解した実践力ある教師の確保

【21世紀教員養成改革アクションプラン】(連携・協力協議会事務局<大学・県教育委員会>)

佐賀大学と佐賀県教委との連携・協力のもと、教員養成のあり方(佐賀大学における教員養成改革アクションプラン)や教員としての資質の向上を図るための施策について、具体的に検討

教員研修専門部会

プロジェクト名	概要
学校マネジメント研修	各学校が学校組織として効率的かつ効果的にそれぞれの教育目標の実現と課題の解決を図ることができるよう、マネジメント研修を実施。
中堅教員等資質向上研修	現職教師に対し、大学の資源を活用した多様な専門的な研修機会を設けるため、中堅教員等資質向上研修(旧10年経験者研修)の一環として教職10~15年程度対象の公開講座を開催。
理科指導力向上研修プログラム	理科教員の資質向上のため、学習指導要領に沿った実験・演習等についての研修を県内各地で実施。

教員研修モデルカリキュラム開発プログラム

採択年度	採択課題名
H21(2009)	「全国学力・学習状況調査」分析結果を生かした学力向上のためのクロスオーバーカリキュラムの開発
H23(2011)	小中接続教育推進に向けた学部教員と附属小・中学校教員のティーム・ピア・エデュケーション(TPE)による、教員研修支援カリキュラム開発

【教員養成専門部会】

- 教育ボランティア
- 大学院教育実習
- 発達障害と心身症への支援に強い教員の養成
- 教職実践演習の実施と教員養成カリキュラムの見直し

教育課題研究専門部会

プロジェクト名	概要
児童生徒の活用力向上研究指定事業	県の指定する中学校及び校区内小学校が、国語、算数・数学を中心に各教科における基礎的・基本的な知識や技能の習得と併せて、それらの活用力を高めるための授業等における実践的研究を行い、その取組や成果について県内の学校へ公開することにより、教員の指導力向上及び児童生徒の学力の向上を目指す。附属小学校、附属中学校が研究協力校となっている。
ICT利活用による学校支援	電子黒板、タブレットPC等、ICTを活用した協働学習支援やアクティブラーニングなど、新たな学習環境を如何に授業に組み込むかについて、大学と県教委が連携して、現職教員研修・教員養成プログラムを検討。
いじめ防止調査研究事業	平成25年9月28日施行の「いじめ防止対策推進法」においていじめの方策、児童等への指導の在り方、その他いじめ防止等のための必要な事項や対策についての調査研究及び検証を行うことが求められたことを受け、いじめ防止等に係る教員研修の在り方やいじめ防止の方策等についての調査研究を行う。

概要

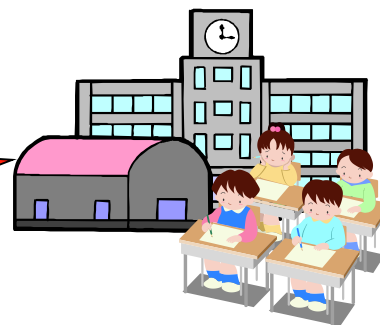
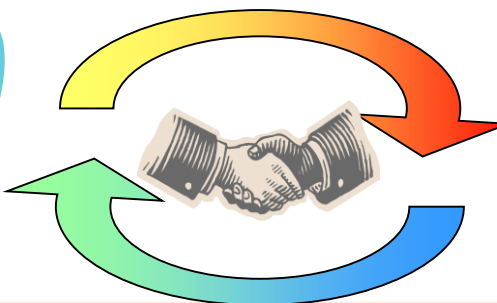
教育学部と佐賀県教育委員会は、平成17年に連携・協力協定を締結し、3部門において実質的な事業を展開。佐賀大学の人材・知見を活かした現職教員の資質向上と教育現場の課題解決を目指して、様々な事業を展開。教育学部における代表的な地域貢献プログラムの一つ。

平成28年には学校教育学研究科(教職大学院)も連携・協力協定を締結し、「教職大学院専門部会」がスタートした。

- <佐賀大学>
- 現場の実態を踏まえた魅力ある養成課程の構築
 - 地域の大学としての政策的課題への貢献



協定締結(17年1月)



- <佐賀県教育委員会>
- 教育課題の解決への専門的資源の活用
 - 子どもたちを理解した実践力ある教師の確保

【21世紀教員養成改革アクションプラン】(連携・協力協議会事務局<大学・県教育委員会>)

佐賀大学と佐賀県教委との連携・協力のもと、教員養成のあり方(佐賀大学における教員養成改革アクションプラン)や教員としての資質の向上を図るための施策について、具体的に検討

教職大学院専門部会

プロジェクト名	概要
実践的指導力向上事業	高度専門職業人養成として教員養成に特化した佐賀大学教職大学院と佐賀県教育委員会がお互いの教育資源を有効活用しながら、佐賀県の教育課題解決に取り組む探究心の醸成や実践的指導力の向上に取り組む。
学び続ける学校トップリーダーの資質向上事業	佐賀県における「チーム学校」の実現に向けた推進役となる新たな学校管理職を「学校トップリーダー」と位置づけ、子どもを支えるネットワークの中の「学校」を意識し、多様で複雑な教育課題に対して組織的・効果的な対応を行うことができる「チーム経営」のマネジメント力を高めるため、佐賀大学教職大学院と佐賀県教育委員会が組織的に連携・協働して、学び続ける学校トップリーダーの資質能力の向上に取り組む。 本事業は、独立行政法人教職員支援機構平成29年度教員の資質向上のための研修プログラム開発支援事業の委託事業として、佐賀大学教職大学院と佐賀県教育委員会が組織的に連携・協働して取り組んだ。

中高年のための健康教室

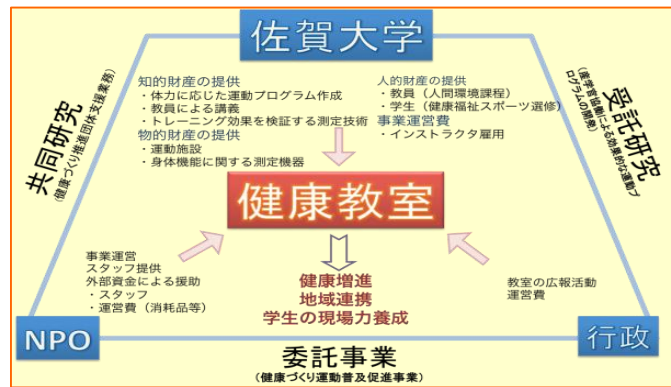
- 大学や地域で中高齢者向けの健康教室。毎週400名近い地域住民が参加。
- NPO法人、佐賀県、佐賀市との連携。（6者協定事業の一環）
- 高度な測定機器による身体測定等の実施、専門教員による健康や生活に関する講義など大学が持つ財産を活用した特色ある事業。
- 毎週70名近い学生が授業の一環、ボランティアとして教室に参加、運動指導や運営に携わることで指導力、コミュニケーション力、企画運営力等の現場力を育成。

ウルトラマラソンクラブ（発達障害のある子ども達の運動教室）

- 発達障害のある子どもが楽しく運動することを通して、その健やかな成長・発達を促進することのできる運動教室。
- 平成26年度の運動教室は、佐賀大学本庄キャンパスの体育館で第2、4水曜日、対象児は15名。学生トレーナーは10名程度。
- 主な診断名は、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、自閉症、注意欠陥多動性障害。きょうだい児も参加して自由に遊ぶ。



佐賀大学健康教室の様子



産学官連携による事業運営の概念図



ウルトラマラソンクラブの様子

本事業の実績・成果

（研究助成）

- 佐賀県受託研究「効果的な介護予防プログラムの開発」H21～23
- 三菱財団2件「高齢者に対する新しい身体能力評価法の開発」
- 科学研究費「高齢者の運動能力に強く関与する股関節筋力測定機の開発とその応用」

（マスコミ関連）

- 大学の研究成果を中高齢者の健康に還元 NHK九州沖縄、H17.3.1
- 高度な測定機器を用いて健康教室の効果を検証 佐賀新聞、H18.2.14
- 佐賀大学が地域貢献として健康教室実施 NHK佐賀、H20.3.17
- 就業体験にもなる中高齢者のための健康教室 大学の選び方2011、週刊朝日進学MOOK
- 中高齢者のための健康教室 かちかちワイド特集、サガテレビ、H23.6.29
- 佐賀大学健康教室に記事が訪問 かちかちワイドニュース、佐賀新聞、H24.10.19



大学の選び方2011、週刊朝日進学MOOK

設置の趣旨・目的

○現代的な社会と地域の変貌と学校教育の課題

- ① 現代的な学力育成 ② 多様な教育課題を持つ子どもの支援 ③ 地域との連携による学校づくり

○地域の学校教育の改革を担う高度な実践的教員の育成

- ・ 教員としての総合的な資質の高度化
- ・ 学校教育の課題を探究する力の形成
- ・ 学校改革のための実践力の形成

教育目標

地域との一体化

- ・ 佐賀地域の佐賀大学（COC）
- ・ 佐賀県教育委員会との連携
- ・ 地域の学校及び関係機関との連携

学校教育学研究科・専門職学位課程（入学定員：20名，専任教員14名）

養成する人材像

- **授業実践探究コース**
変革の時代の学力育成のための授業開発を進めるリーダー教員
- **子ども支援探究コース**
生徒指導，教育相談，教育・発達心理学，特別支援教育のリーダー教員
- **教育経営探究コース**
地域変貌や子どもの実態に応じた新しい学校づくりを推進するリーダー教員

【カリキュラム】

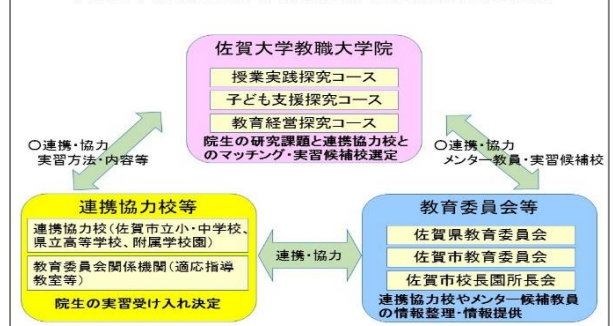
- 原理①：課題探究
原理②：理論と実践の往還
- 構成
- ・ 目標設定／達成確認科目
 - ・ 共通必修科目
 - ・ コース専門科目
 - ・ 多様な実習科目
 - ・ 学校変革／関係機関実習
 - ・ 実践研究報告書の作成

教育と運営の特色

- 研究者教員と実務家教員との共同授業
- 実務家教員は，すべて実践的指導力を有する現役の教員を配置
- 教職大学院運営協議会設置による教育委員会と地域の学校の運営参画
- 佐賀県の3地域にサテライトキャンパスを設置（鳥栖市・唐津市・武雄市）
- 県内60校園にもおよぶ実習協力校・児童相談所等の関係機関
- 教員採用100%をめざして，大学院推薦制度及び教員採用特別猶予制度の活用
- ストレート・マスターも，教育経営が学べるコース設定



佐賀大学教職大学院・連携協力校・各教育委員会の連携



空白

空白

空白

学外者の方へ

- ・無断転載はお控えいただきますようお願いいたします。
- ・質問等がありましたら、佐賀大学広報室(TEL 0952-28-8153)へご連絡ください。

学内教職員へ

- ・大学情報を学内外へ発信するために、自由に利用してください。
- ・生原稿が必要な方は、広報室(内線8153)へご連絡ください。

<http://www.saga-u.ac.jp/>



国立大学法人 佐賀大学